

(様式第1号)

■ 会議録 □ 会議要旨

会議の名称	第13回芦屋市環境づくり推進会議
日時	令和5年9月19日(火) 10:00~12:00
場所	芦屋市役所北館4階 教育委員会室
出席者	会長 長井 彦一郎 副会長 池内 清 委員 大脇 巧 委員 武田 誠 委員 村上 順子 委員 半田 孝 委員 浜橋 多恵子 委員 松下 仁美 委員 山下 大樹 委員 大上 勉
事務局	環境課長 長良 晶子 保全係長 岡本 祐子 課員 芝本 裕真
会議の公開	■ 公開 ----- □ 非公開 □ 一部公開 会議の冒頭に諮り、出席者○人中○人の賛成多数により決定した。 〔芦屋市情報公開条例第19条の規定により非公開・一部公開は出席者の3分の2以上の賛成が必要〕 <非公開・一部公開とした場合の理由>
傍聴者数	0人(公開又は一部公開の場合に記入すること。)

1 会議次第

(1) 開会

(2) 議事

ア・令和5年度「芦屋市環境フェスタ」に向けた準備

イ その他

(3) 閉会

2 提出資料

会議次第

【資料①】環境フェスタ会場マップ

【資料②】室内イベントマップ

【資料③】クイズラリーの役割分担

【資料④】クイズ案

【別紙】メタセコイア解説

3 審議内容

(事務局)

本日は、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。

定刻となりましたので、ただいまから第12期第13回芦屋市環境づくり推進会議を開催させ

ていただきます。

それでは長井会長、会議の進行をお願いいたします。

(長井会長)

はい。まず、事務局から委員の出席状況の報告をお願いします。

(事務局)

委員10名中、本日10名がご出席でございます。

半数以上の出席をいただいておりますので、本会議は成立しております。

(長井会長)

ありがとうございます。

本日、傍聴の方はいらっしゃいますか？

(事務局)

傍聴の方はいらっしゃいません。

(長井会長)

それでは、議事に入ります。次第に沿って、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

はい。(資料の確認)

本日は、令和5年度芦屋市環境フェスタに向けた準備についてです。

前回の会議では、実際に総合公園に行って会議室の様子等現地確認を行いました。それらをもとに当日の会場マップと室内イベントマップを作成いたしましたので、【資料①】と【資料②】をご覧ください。

----- 【資料①の概要説明】 -----

----- 【資料②の概要説明】 -----

会議室内では、「さんぴいす」「芦屋森の会2001」「あしやエコクラブ」の3団体がワークショップとポスター展示を実施する予定です。また、「葉っぱリサイクルクラブ」「こどもエコクラブ グリーンキッズ」は会議室内で、「芦屋市子ども会連絡協議会」「CGJ」が会議室前のロビーでポスター展示を行っていただく予定です。半田先生による「太陽の黒点観察」はテラスで、「化石の展示」と「パナソニックによるイベント」はロビーで実施する予定です。当日の会場図については以上になります。

(大脇委員)

子ども会さんとCGJさんが会議室前のロビーでポスター展示というのは、部屋の広さの問題でしょうか？そうでしたら、こちらは机一つあればいい程度なので、こちらのスペースと側面を使ってもらえるのではと考えていますが、どうでしょうか。

(事務局)

ポスター等の展示の方法ですが、壁に貼り付けるのではなく、紐で棒を吊るし、その棒に模造紙等を張って展示しようと思っておりますので、吊るす場所は壁面の空いている所を考えています。また、当日は入場人数を制限していないため、ワークショップの参加人数によって室内スペースに余裕があれば室内で、スペースがなければロビーへと臨機応変に対応してい

きたいと思っています。

今回、それぞれのワークショップごとに机を3つずつ使っていただく予定にしています。それぞれの団体の近くにポスターを展示されるのが良いと思いますが、全てロビーに展示するという案もあります。その時の状況を見て判断させてもらいたいです。

つづいて、クイズラリーについてです。当日の役割分担を事務局の方で決めさせていただきましたので【資料③】をご覧ください。

-----【資料③の概要説明】-----

クイズラリーは、ビオトープ周辺にある7種類の植物を題材としたクイズで、参加者の方は受付で記入シートを受け取り、ビオトープ周辺を散策しながらクイズに挑戦していただく予定です。当日の役割を決めさせていただきました。

受付については、浜橋委員と松下委員。ビオトープ担当は、長井会長、武田委員、村上委員、山下委員。各植物担当は、【資料②】のとおりとなります。

また、クイズラリーの景品については、こちらのグッズをお渡ししようと考えています。

-----【景品の説明】-----

まず、当日のレイアウトや役割分担についての説明は以上になります。

(長井会長)

ありがとうございます。

環境フェスタのレイアウトや役割分担について、何かご質問やご意見はございますか？

クイズラリー担当については、各委員が交代で入るようなイメージでしょうか。具体的に知りたいです。

(事務局)

クイズラリーについては、資料④の皆様に考えていただいたクイズ案をこの後に選別し、決定したものをA4用紙にラミネート加工をし、それぞれの木につるす予定です。

来場者が、受付でクイズラリーの用紙をもらい、ビオトープの周りを回りながらクイズに答え、受付に戻り、クイズの答えと景品を受け取って帰るという流れです。ビオトープの担当の委員さんには、質問に対する解説や誘導をしていただく役割をお願いしたいと考えております。

(池内委員)

解答用紙にビオトープの簡単な説明や名前等を挙げておくのはどうでしょうか。何もなければビオトープを素通りしてしまうと思うので、参加者にそういったものを確認しながら回っていただくとよいと思います。

(長井会長)

前回の会議を欠席しましたのであまり分かっていないのですが、これらの植物は現地に生えているのでしょうか。

(事務局)

本当はもっとたくさんの植物が生えているのですが、その中から特徴的な葉っぱや人と関わりがある植物をピックアップし、クイズの題材に使える植物を7種類選びました。

(長井会長)

その枝や植物の場所に行って質問に答えるようなイメージでしょうか。

(事務局)

クイズのパネルをラミネートし、それを木にくくりつけ、参加者はそれらのクイズを答えながら周っていただくイメージです。クイズの回答用紙は、受付にてお渡しする予定です。

(長井会長)

クイズはここにあるといったビオトープ周辺のマップはあるのでしょうか。

(事務局)

【資料①】のとおり総合公園の全体マップを用意しました。以前、池内委員がおっしゃっていたように、ビオトープ周辺だけのマップとなるとその場所にしか行かなくなるため、ビオトープ周辺へ散策しながらも周りの植物にも目を付けていただく方が良いと思っています。

(村上委員)

会議室棟からビオトープまでの道のりは来場者が迷われるようなことはないのでしょうか。マップは1人1枚お渡しする予定でしょうか。

(事務局)

1人1枚の用意は考えていません。何枚か印刷し、受付などに置く予定です。会議室棟からそこまで離れているわけではないので、迷うことはないかなと思います。

(大脇委員)

ビオトープまでは舗装された歩道があるので、ある程度のポイントで「ビオトープこっち」という矢印看板を付けておけば迷わず行けると思います。

(事務局)

前回と同じように、環境づくり推進会議委員の名札をご用意し、皆様には付けていただく予定です。

会場マップは、受付と会議室棟の入り口に掲示します。全員に配ることは考えていないですが、希望者に渡せるように10～20枚用意する予定です。また、当日何人来場されるか予想できませんが、クイズラリーの用紙は300枚ほど用意する予定です。

(大上委員)

でしたら、クイズ記入シートなどの裏側に「途中で迷ったらスタッフに聞いてね」といった案内を記載すると良いかもしれませんね。受付でイベントの全体の予定や地図などを渡して、それぞれ来場者が好きに回るのが一般的なやり方のような気がするのですが、その用意がなければ、クイズラリーの用紙には分からないことはスタッフに声掛けができる、といった当日の有意義な情報をできる限り入れると良いと思いました。

(山下委員)

マップの受付は、環境フェスタ全体の受付ということでしょうか。クイズラリーの受付もそこで行い、クイズラリーの記入シートをお渡しするといったイメージでしょうか。その際に、ビオトープの案内もできれば迷うことはないかなと思っています。

(大脇委員)

ビオトープは、最低1人はいるようにしたいですね。

(事務局)

そうですね。先ほど、大上委員もおっしゃっていたように、大上委員を含め事務局員は、当日は色々なところに臨機応変に入れるようにしています。半田委員が太陽の黒点観察と化石展示の二つの担当をされるので、化石展示の方に来場者に説明をできるように事務局員を配置し、ビオトープまでの道のりや、混雑している展示などから空いているところに来場者を誘導するような声掛けなどもできるかと思います。ビオトープの担当には、委員の方を4人配置していますので熱中症やけがなどに十分注意し、適宜休憩など取ってもらいながら担当していただきたいと思います。

(池内委員)

化石展示や太陽の黒点観察も、何かあれば私も対応できるように準備します。

(事務局)

ありがとうございます。

(山下委員)

ビオトープ4人を配置していますが、万が一熱中症になったりした際の緊急連絡先はあるのでしょうか。もしくは、総合公園管理事務所に直接電話すれば良いですね。

(事務局)

直接、管理事務所に連絡してもいいですし、休憩できる場所ありますし、我々事務局はフリーで待機していますので、臨機応変に対応いたします。

(長井会長)

今回の環境フェスタは、当日にならないと人数も分からないですね。また、当日、公園に遊びに来ている方達も参加できますね。

(事務局)

そうですね。今回は、申し込み制ではありませんが、広報紙やホームページに案内を掲載していますし、案内ポスターも作成し、市内の学校園や図書館などに掲示しています。

(村上委員)

たくさん来られた場合、先にクイズラリーへ誘導するといった予定でしょうか。

(事務局)

あまり強制的に案内するつもりはありません。「良ければクイズラリーはどうですか」といったお声掛けはしようと思います。今回は整理券の配布も考えていませんので、ご自由に回っていただければと思います。

(長井会長)

当日、最後にアンケートは書いてもらうのですか。

(事務局)

簡単な内容の4項目くらいの紙のアンケートを回収箱に入れて帰っていただくことを考えています。前回のようQRコードは考えておらず、A4用紙の半分サイズに書いていただく方法で良いかと思ひます。

(山下委員)

アンケートの回収率は高い方が良いでしょう。もし回収率を上げるとすれば、例えばアンケートをクイズラリーの用紙とくっつけて配り、帰る前に答えと引き換えに回収できるようにしたら回収率が上がるのではないのでしょうか。

(長井会長)

ありがとうございます。

次の議題について、事務局は説明お願いいたします。

(事務局)

続いては、クイズラリーの案についてです。

それぞれ担当していただく植物にまつわるクイズを、委員の皆様に取り聞きさせていただきました。皆様の案を【資料③】のとおりまとめていますのでご覧ください。

この中から、どのクイズにするか委員の皆様に取り決めたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

(長井会長)

ありがとうございます。

クイズラリーの案については、いかがでしょうか。

資料④のクイズ案の中から当日使うものを選ぶのですね。

(事務局)

はい。例えばハゼノキのクイズが複数あるのですが、現地のハゼノキに紐でA4ラミネートシートにした問題文を1つか2つ吊るすか、短い文章の問題を一枚に2つ書き吊るすかというようなイメージを考えています。

(池内委員)

その場で答えの番号を選ぶ形式だと、家に帰ってから思い出すようなことができないので、解答用紙を見て家で思い出せるような書き方が良いでしょう。また、回ったあとで、解説を書いた紙など渡せると答え合わせができて良いでしょう。

(長井会長)

ハゼノキ1の「ハゼノキの葉っぱの出方はどのような出方でしょうか？」という問題は、少し答えにくいような気がします。答えを選ぶようなものではないので、3択問題の方が良いでしょう。

(事務局)

ハゼノキでしたら、当日はまだ葉っぱもついていますよね。実際に葉っぱを見る機会にもなり、良いクイズだと思ひます。

(山下委員)

絵を描いて解答していただくと良いかもしれませんね。

(事務局)

その場で植物をよく観察していただくという意味では、素敵な問題だと思います。クイズラリーの目的に沿っていると思います。

クイズの数をどうするかを決めていきたいと思います。皆さんに提出していただいたクイズ案はオニグルミの問題が3つ、カシワが6つ、クロマツが1つ、ケヤマハンノキが3つ、ハゼノキが3つ、メタセコイアが2つ、ヤツデが1つという状況です。

(山下委員)

問題と答えが一緒にあると、子ども達はその用紙を家に持って帰ったときに話ができて良いと思います。7種類の木についてのクイズになるので、それぞれ2つずつにしてみてもどうでしょうか。池内委員のご意見のように、問題の答えと解説を用紙に両面印刷で載せることができそうですね。

(事務局)

では、それぞれの木につき2問ずつに絞りましょう。

(長井会長)

あまり多すぎると、後半の問題をじっくり見る時間がなくなってしまうのではないかと少し心配に思えますがいかがでしょうか。

(池内委員)

参加者全員が同じ順番で回るとも限らず、それぞれ見つけた木から問題を答えていくと思います。「〇問以上答えてくれたら、景品プレゼントします」といった書き方をすれば良いのではないのでしょうか。

(長井会長)

分からなかった問題の答えを子ども達は知りたいと思いますが、答え合わせはどのようにするのでしょうか。

(事務局)

受付に答えを用意していますので、各自で答え合わせをしてもらいます。最初に受付で解答欄とアンケートの載った用紙を渡して、回り終えた人に問題と答えと解説の載った用紙をお渡しするのはどうでしょうか。分からない問題があれば、その場で教えてあげることもできますね。景品は、全員に参加賞でお渡しします。

(山下委員)

アンケートは別の用紙にした方が良いかもしれません。問題に答えて、答え合わせをした軌跡を後で振り返りたい子どもや自宅などで家族に話したりする子どももいると思うので、自分で考えて書いたものが手元に残ったほうが良いと思います。

(長井会長)

回収するのはアンケートでしょうか。

(事務局)

そうですね。では、問題と自分の答えたものを持って帰りたい方もいらっしゃるので、回収するのはアンケートのみにしましょう。

(大上委員)

人数の確認は受付で数える方法でしょうか。

(事務局)

そうですね。受付でカウンター等を使ってカウントできると思います。

(浜橋委員)

名前も書いていただけますか。

(事務局)

そうですね。クイズラリーの受付の際に「氏名」や「連絡先」を書いて参加していただくことにしましょうか。個人情報ですのでイベントが終わりましたら、速やかに破棄する予定です。

(村上委員)

クイズラリーの記入用紙に問題文と一緒に載っていると、その問題文だけ見て現地に見に行かなくなる可能性があると思いますので、「問題と答え」と「回答用紙」は別々で渡す方が良いと思います。

(山下委員)

現地に行かないと分からない問題を織り交ぜると良いと思います。

(大上委員)

今回のクイズラリーは、身近な植物を実際に見て触れてみるのが目的ですので、やはり行っていただくことが大切だと思います。問題を植物や木に置いておくのはどうでしょうか。

(池内委員)

そうですね。最初のご提案で良いと思います。先に問題と答えを渡してしまうと意味がないと思いますので、別々でお渡しし、答えは最後にお渡しする方法が良いと思います。

(大脇委員)

クイズラリーから会議室棟へ戻った子供たちが、それぞれに答え合わせをして、その間に保護者にアンケートに答えてもらって回収し、子供たちは答え合わせしたものを受付に見せたら、景品をもらって帰るイメージでできそうです。問題と解答はセットですね。

(山下委員)

質問コーナーを設けてみると楽しいかもしれませんね。

(大上委員)

17時に会議室を撤収するのですよね。では、時間を見ながらになると思いますが、途中から



参加された方には15時半くらいまでに受付に帰ってきてくれるように声掛けをした方が良いでしょう。

(事務局)

受付が15時までなので、そのような声掛けをして、少しずつ片付けも始めながらできるのではないかと思います。各団体さんにも周知していますが、当日は17時まで撤収、解散を予定しています。

では、実際に問題を決めていきましょう。

(大上委員)

1種類の木には、2問ずつが目安でしょうか。

(事務局)

皆様にご提案いただいた問題を全て採用すると18問でしょうか。同じ内容の問題を一緒にしたりして、もう少し絞っても良いかもしれません。

(浜橋委員)

せっかく現地で植物を見ることができるので、1つは木の形状を見ながら答えるもの、もう1つは面白い問題で良いと思います。例えば問題のオニグルミ1のオニグルミの葉っぱが複数枚に見えて、実は1枚であるという問題はよく木を観察できる問題なのでとても良いと思います。

(池内委員)

単葉と複葉という違いで葉っぱの根本をよく見るとわかることなのですが、そういった解説を答えのシートに付け加えて書くとよいと思います。

(長井会長)

子ども達はその場で答えを書いたとして、それが間違っただまになっていると委員としては心苦しいですね。その場で何か教えてあげれば良いでしょうか。

(大脇委員)

逆にその時は間違えていても良いと思います。答え合わせの時に、実は間違えていたと印象に残りますから。現地ではヒントを教えてあげる程度で良いと思います。もしくは、問題の部分に小さくヒントを載せても良いかもしれません。

(松下委員)

カシワの案については、問題内容が同じものが複数あるので、まとめるようにしたいです。

(浜橋委員)

○×問題となると、少し説明や文章が長くなってしまいますが大丈夫でしょうか。

(池内委員)

○×問題に限らず、正解を選んでいただく方法で良いと思います。あまり影響ないと思います。

(長井会長)

では、オニグルミに関しては、1(葉っぱ)と3(○×問題)にしようと思います。  
続いて、カシワについてはいかがでしょうか。

(池内委員)

カシワは、かしわ餅というようにお餅に利用されている問題はどうか。実は、鶏肉の意味もありますが。

(山下委員)

今の子ども達は、かしわ餅をあまり知らないかもしれません。写真を見て初めて分かる子が多いのではないのでしょうか。カシワが鶏肉という意味は、恐らく誰も知らないと思います。

(松下委員)

カシワ6は、今の子ども達がかしわ餅や鶏肉をカシワと呼ぶことを知っているかどうかなどの不安もありますが、かしわ餅について、このクイズラリーでぜひ知ってほしいと思います。

(大脇委員)

問題文を「何に使っているのでしょうか」にした方が良くもありません。  
カシワ4を残しても良くもありません。

(池内委員)

カシワ2については、少し時期は早いですが、現地でどんぐりの実が木になっているのを確認できて良いと思います。

(事務局)

カシワは2(どんぐり)と4(落葉について)と6(葉の用途：柏餅)の3つを残しましょう。  
続いて、クロマツはいかがしましょうか。

(池内委員)

クロマツの問題は、もう少し増やしても良くもありません。

(山下委員)

クロマツの問題で資料に載せられていないですが、考えていたものがあります。  
「クロマツの葉は何枚か?・・・①1枚、②2枚、③たくさん。答えは②2枚」の3択問題です。

(事務局)

では、クロマツは資料の(市の木)と山下委員の案(葉の枚数)の2問にしましょうか。  
続いて、ケヤマハンノキはいかがしましょうか。

(山下委員)

ケヤマハンノキ3の問題をもっと低学年児でも理解しやすくしたいです。  
「ケヤマハンノキのケの字はどんな漢字を書きましょう?・・・①気、②毛、③稀(珍しいという意味)。正解②」とすれば小学校低学年でも解けるのではないのでしょうか。

(池内委員)

子ども達が漢字を読めるか、心配ですね。

(山下委員)

「毛」は、髪の毛の「毛」というように漢字に補足説明を入れてあげると分かるかもしれません。

(長井会長)

ケヤマハンノキは1（名前の由来）と3（漢字）にしましょう。  
続いて、ハゼノキはいかがでしょうか。

(山下委員)

ハゼノキ1は、現地に行かないと分かりませんので、良い問題だと思います。

(池内委員)

ハゼノキ3は実の加工品の問題ですが、選択肢に和ろうそくを入れてもらいたいです。和ろうそくが一番多く使われていて、そこから石鹼やクレヨンなどの製品もできてきたような所もあるので、今でも使われているものとしては、ろうそくで良いのではないのでしょうか。

(事務局)

「ハゼノキは昔からいろいろな使い方をしているが、今も使われているのはどれでしょうか」という問題に対し、「答え ④ろうそく」にするのはどうでしょうか。

(浜橋委員)

クレヨンは使われていないのですか？

(長井会長)

①、②、③は使われていないかもしれません。

(山下委員)

調べてみたのですが、ハゼノキの実の整髪料、石鹼、クレヨンもインターネットなどで売られています。ですから、ここはろうそくも入れて全部正解で良いと思います。

(事務局)

ハゼノキ3は「ハゼノキの実を蒸して絞った物は昔からいろいろな使われ方をしていますが、今でも使われているのはどれでしょう？・・・①整髪料、②石鹼、③クレヨン、付け足しで④ろうそく。正解は全て。」で良いと思います。

(長井会長)

ハゼノキは1（葉の出方）と3（実の加工品）の問題が良いと思います。  
次にメタセコイアについてですが、いかがでしょうか。

(半田委員)

メタセコイア1として「メタセコイアのメタの意味は何でしょう？・・・①めったにない、②変な形。答え②変な形」  
メタセコイア2として、「メタセコイアの化石が取れるのはどこでしょう？・・・①神戸市北区、

②芦屋市、③尼崎市。答え①神戸市北区」

(事務局)

今回の化石の中に、メタセコイアに関する化石はありますか。

(半田委員)

用意しようと思います。

(長井会長)

では、メタセコイアはこの2つの問題にしようと思います。

次は、ヤツデです。今1問だけですが、もう1問ありますでしょうか。

(事務局)

現地でヤツデを観察して分かるようなクイズはありますか。

(浜橋委員)

今ある問題の選択肢から1つ独立させて、「ヤツデの葉っぱの切れ込みはいくつあるか」「ヤツデの葉っぱは何枚あるか」といった観察させるクイズはどうでしょうか。

(事務局)

良いと思います。ところで、なぜ、ヤツデはヤツデという名前なのでしょう。

(池内委員)

8枚といった枚数の意味ではなく、たくさん分かれているという意味です。

(事務局)

以上で15問ですね。7種類の木に対しそれぞれ2問ずつで用意します。カシワだけ3問ですね。

(長井会長)

ありがとうございます。

環境フェスタに関して他に何かございますか。なければ、事務局から連絡事項はございますか。

(事務局)

今回は、環境フェスタになります。9/30(土)午後1時に、総合公園の会議室に集合となります。各環境団体所属の委員は「ワークショップや展示の準備」、それ以外の委員は「会議室の設営」と「クイズラリーの設営」にそれぞれ分かれていただき、ご準備をお願いいたします。

(長井会長)

他に何かございますか。ないようでしたら、これで第13回芦屋市環境づくり推進会議を終了します。ありがとうございました。

以上